

第三者評価 評価結果総括表

NPO 中小企業再生支援第三者評価事業部

事業所名	ポピンズナーサリースクール馬車道
報告書作成日	平成 29 年 1 月 10 日 (評価に要した期間 7 か月)
評価機関	NPO 中小企業再生支援第三者評価事業部

評価方法

自己評価方法 実施期間：平成 28 年 9 月 15 日 ～平成 28 年 09 月 30 日	全職員が参加し、職員会議などを通して検討を重ね、その結果を園長がまとめました。
評価調査員による評価方法 実施日：第 1 日目平成 28 年 11 月 17 日 実施日：第 2 日目平成 28 年 11 月 21 日	評価調査員 3 名が 2 日間園を訪問し、現場観察、書類確認、職員ヒアリング（園長、職員 3 名）および子どもの観察を行いました。
利用者家族アンケート実施方法 実施期間：平成 28 年 9 月 21 日 ～平成 28 年 9 月 30 日	全園児の保護者に、アンケート用紙と返信用封筒を園から渡して、園に回収箱を備え、無記名・密封の状態で評価機関が回収しました。
利用者本人調査方法 (実施日：平成 28 年 11 月 17 日 11 月 21 日)	園児の 1 日の流れに沿って、保育園での生活状況を観察を中心に行いました。また、園児と遊びや食事をともにしながら、会話の中から聞き取りを行いました。

評価結果についての講評

【施設の特徴】

・立地及び施設の概要

株式会社ポピンズ系列のポピンズナーサリースクール馬車道は、地下鉄みなとみらい線馬車道駅より徒歩3分、JR桜木町駅、関内駅より徒歩15分のビルの2階にあります。

園は2012年4月1日に開設され、0歳から5歳児の定員50名の小規模保育園で、現在50名の園児が在席しています。

園より徒歩15分以内には横浜臨海公園や運河パーク、ソウの鼻公園など多くの公園があり、園では子どもたちの発達に応じて選択し、散歩、運動に利用しています。

・特徴

園の具体的な保育手法として「エデュケア」(education 教育、care 保育の合成語)があり、これを実践する上で園は、ポピンズアプローチという独自な手法により子どもの成長を支援しています。ポピンズアプローチでは子どもの成長における重要時期は「0才から」として、こどもの知力を、言語・音楽・論理数学・空間構成・身体運動・自然科学・社会性・自己受容の8つの領域に整理し、「知力8(エイト)」と名付け、子どもの発達状況を勘案して、これらをベースとして組み合わせてカリキュラムを構成・運営しています。

【特に優れていると思われる点】

1. 保護者の都合に配慮した、保育参加の推進

これまで年1回だった保育参加の機会を年2回に増やし、期間も2か月に延長して保護者が参加しやすいように配慮しました。年度初めには年間行事を含めて、予定表を渡していますが、はじめての保護者にも分かるように5月の懇談会で詳しく説明しました。

結果は在園児保護者全世帯数の約80%の参加が得られ、と同時に両親の参加も得られ、保護者からも大好評でした。

2. ビジネスビル街にありながらの地域交流への努力

園は、中区区民祭りに「折り紙」「絵本」を出展したり、「駅伝大会」に子どもを選手として出場させたりして地域のニーズに合わせています。また、園は月2回第2火曜日夕方4時から定期的に催す「マザーズサロン」を開催しています。育児相談が主目的ですが、現段階では保護者以外に参加者はいないのが現状です。しかしながら、このような地道な努力は、いつしか、地域のニーズを先取りした、地域に根ざした保育スタイルの完成の日を迎えることでしょう。

3. 遊びの中での徹底した子どもの観察

「型はめを通して認識した論理数学(物事を論理的に考え算数や数学を効果的に扱う力)」

子どもの前に型はめを置き、保育士は一切支援せず、子どもがどのような動きをするのかを観察します。子どもは色々な試行錯誤のステージを乗り越えて、最終的に完遂し、表情からは強い達成感が読み取れるようになります。これは園のエデュケア(「エデュケーション(教育)」と「ケア(保育)」を組み合わせた言葉)実践上の「論理数学」の一コマです。園は、不得手なものも遊びの中に取り入れることで子どもが興味をもち、やがて達成感、満足感を生むとの理念から保育を進めています。

【特に改善や工夫などを期待したい点】

1. 地域のボランティア及びボランティア団体に保育体験の機会を

地域のボランティア及びボランティア団体には保育体験の機会を与えることも、地域への貢献及び園の透明な運営に関して必要です。招致の努められることを期待いたします。

事業所名:ポピンズナーサリースクール馬車道



NPO中小企業再生支援第三者評価事業部

評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成 	<ul style="list-style-type: none">・株式会社ポピンズの企業理念は「最高水準のエデュケアと介護サービスで社会に貢献します」とし、エデュケアとはエデュケーション（教育）とケア（保育）の合成略語です。設置法人の創業者である中村紀子代表が英国の教育ベビーシッター養成の名門ノーランドカレッジの教育メソッドに感激、導入しポピンズを起業しました。現在100校をこえる保育園を運営しています。・ナーサリースクールとは保育学校の意味です。園の保育理念は「人生で最も重要な時期の人間教育を目指します」です。教育に重点を置き、保育目標として「①寛容な人間、②聡明で愛情深い人間、③探究心の旺盛な人間、④グローバル社会で活躍できる人間」と4タイプの人間像の養成を挙げています。・ポピンズアプローチという独自の教育メソッドで子どもの知力を8つに分け（知力8）各々が関連しあったカリキュラムが編成されています。・園の周辺地域はビジネス街と高層マンション群です。若い所得の高い人が多く住む地域で待機児童が多いのが特色です。この特長を踏まえ、保育課程の作成には施設長をはじめ常勤職員が会議などで議論し合って作成しています。・保育課程を基に年齢ごとにクラス担任が作成した、年間指導計画を施設長が承認し、月間指導計画、週案、日案とより具体的な活動になっています。月末には担当の振り返りが記入され、子どもの要望によって週案は変更され赤字で訂正されています。・保護者には入園説明会 入園式などで「重要事項説明書」を配布して、理念・方針を説明しています。
I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 	<ul style="list-style-type: none">・設置法人が進めているITを利用した「マイページ」システムは連絡ノートの代わりにIpadを利用して情報の発信・受信をするという現代的な手法です。すでに一部で実現しており、朝の登園前には子どもの様子が保護者により発信され、子どもが登園した時には担任は情報を得ています。保護者とのやり取りは、ほぼこのシステムで可能となり保護者-園、両方にとって省力化できるシステムです。・施設長、主任とも保育キャリア10数年のベテランで施設長は英国のカレッジ、米国のスタンフォード大で幼児教育を学び、園の開設時からのベテランです。主任も公立保育園に経験があり、若い保育士をリードし、育てています。・3月の入園前面談では施設長、担任、看護師、栄養士がともに面談し、「面談シート」に記入します。聞き取った情報は記録され、会議で職員と共有しています。・成育歴は児童票で、家庭での様子は「お子様について」の書類で把握しています。ほかに「児童健康表」「健康診断書」「食事調査表」「送迎登録表」も必要です。・園は送迎に「子育てサポーター」の利用も可能です。

- ・慣らし保育は子どもによっては1時間保育から始めるケースもあり、期間は1週間をめどにしています。
- ・指導計画は懇談会等で説明し、「ポピンズニュースレター」で毎月の目標・活動とクラスごとの「エデュケアのねらいと内容」欄で保護者へ伝達しています。
- ・活動の評価 見直しは各計画表に「評価・反省」の欄があり、記入が必須となっています。週案で見直された点が翌週の活動に活かされ、その継続が月次へと引き継がれてゆきます。保護者の意向は送迎時の会話から得ています。

I-3 快適な施設環境の確保



- ・園はマンションの2階の半分を占め、1階の建物の入り口にロゴマーク入りの小さな英字の看板があるだけです。エレベーターで2階にあがり玄関にはいと白と淡い若草色で統一された空間が広がっています。清潔感があふれています。
- ・掃除は1日1回～2回職員自ら掃除を行っています。清掃は「安全チェックリスト」に基づき念入りにおこなわれています。トイレは8項目、保育室は10項目のチェック箇所があり、担当のサインがあります。
- ・各部屋には空気清浄器、加湿器が設置されています。室内温度は夏は26度 冬は22度を目安に手動で設定します。エアコンスイッチ傍にその数字は掲示し使用しています。
- ・陽光は4歳、5歳児の部屋にさんさんと入ってきます。
- ・0歳児室隣には沐浴設備（温水シャワー）があります。温水シャワーは2箇所あります。冬は殆ど使いません。
- ・0、1歳児は各々独立した部屋で保育されています。2歳児以上は高さ1メートルの収納棚で仕切られているオープンスペースで過ごしているのが自然と異年齢交流や手伝いをするようになっていきます。
- ・4、5歳児は遊びの部屋と食事部屋が共通で、寝る部屋は奥の部屋を使い、ゴットベッドというブルーの簡易ベッドを使っています。布団は不要で子どもにも保護者にも好評です。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ・2歳児までは全員個別の指導計画表がクラス担当により作成されています。
- ・幼児の特別に配慮を要する子どもにも個別指導計画表が作成されています。
- ・指導計画の見直しは、週案の「評価の視点」でチェックされた項目に沿って記入された「評価、反省」が基になります。月次指導計画表の「個別配慮」欄でその注意点が記載され、「評価・反省」欄でその見直しが必要かどうか書き込まれています。
- ・重要な部分は送迎時に口頭で保護者に伝えられています。
- ・成長発達記録は「成長記録」の名前の書式があり、担任が記入しています。担任は「健康観察表」で毎日子どもの様子を個人ごとに記録し、さらに「保育日誌」の「特に留意する点」として毎日個人ごとに成長の様態を記入しています。その集積が「成長記録」に反映されています。園は年間を4期に分け、1期は4、5月 2期は6～8月、3期は9～12月、4期を1～3月としており、その期間の成長が記録されています。
- ・個人ごとにファイリングされた書類は、個人情報保護のために鍵のかかる書庫に保管していますが、日中は開錠し、事務室からの持ち出しは禁じていますが、全職員は手にとって見ることができます。
- ・重要な申し送り事項は個人別にファイリングされ、子どもの進級時に職員間で申し送りに利用しています。


I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み




- ・中区は横浜18区の中で虐待児の多さでは平成25年度No.1との保健福祉センターの統計がありますが、園には虐待を疑われる子どもが一人もいません。
- ・設置法人のもつ独自の「こども虐待対応マニュアル」は詳細な分析と対処方法が記されて虐待が発見された場合、施設長は躊躇なく中区役所こども家庭支援課、中央児童相談所へ通報することを明言しています。
- ・園は職員に対し早期発見の方法をマニュアルの中で「ナースリーで1日のチェックポイント」としてその場面、場面ごとに詳細に示しています。
- ・虐待についての園外研修に参加し虐待予防に注力しています。
- ・園には障害者が2名在園し、そのケース記録は月1回のスタッフミーティングで報告し、議事録に記録されています。会議不参加者は読了した証拠としてサインすることで、情報伝達の欠落を防いでいます。
- ・中部地域療育センターから年1回巡回相談があり、その結果は施設長と看護師に伝えられ、指導計画に活かされています。
- ・「個別カリキュラム」の指導計画は1ヶ月経過後にその「反省と評価」が、こと細かに時系列に子どもの成長の様子が記録されています。
- ・園は体調不良、食物アレルギー、宗教上の理由による場

合の3ケースで「除去食マニュアル」に基づき除去食を提供しています。食物アレルギーの場合はその症状が出た場合は医師の「診断書」と、保護者から「食事内容変更届」を出してもらいます。毎月保護者と栄養士が面談の上、「アレルギー対応食献立表」を作成し、調理へ渡し、全スタッフへも知らされます。

- ・テーブルへは必ずクラス担任がピンクのエプロン、ピンクのトレイで最初に配膳します。トレイには名札と「食事内容変更」のカードが貼付け、必ずラップで覆っています。口頭と目視で担任と栄養士で確認を行い対応しています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I-6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人は保育と介護の質について国際規格ISO9001を取得しています。顧客満足度を高め、高品質の保育サービスを行う体制が認められた結果です。苦情解決、クレームはその処理を誤ると企業の生死にかかわりかねないとの認識を共有し、アンケート、懇談会での保護者意見を重要視しています。そのことは入園時に「重要事項説明書」で丁寧に説明しています。 ・「苦情解決に向けての実施要綱」では苦情受付は主任、解決責任者は施設長で、直接言いにくい場合には第三者委員2名の名前、電話番号住所が玄関に掲示してあり、申し立てに不便がないような配慮をしています。 ・権利擁護機関としては横浜市福祉調整委員会の住所と電話番号、受け付け時間が明示された「苦情解決のための第三者委員制度」のチラシが玄関に掲示されています。 ・年1回ISO顧客満足度調査保護者アンケートを実施、結果を分析し、保護者へフィードバックしています。年2回の懇談会や、個人面談、日々の連絡帳、送迎時の会話等でコミュニケーションを密にはかり、小さなコンプレインを拾えるよう努めています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ-1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児クラスでは、ぬいぐるみや音の出るおもちゃなど触覚、聴覚を中心とした玩具を用意しています。幼児クラスでは、ブロック、積木（木製）、型あわせなど工夫、創造性がみられるものを置いています。玩具類は極力温もりのある木製にこだわり、子ども達が飽きないように定期的に入れ替えています。 ・子ども達が絵本の中にあつたホットケーキを見て、「つくりたい!」ということになったケースでは、栄養士が材料を準備し、子ども達がホットケーキ作りに挑戦し、作る楽しさ、食べる楽しさを皆で体験しました。 ・カブト虫を飼育し、その幼虫に触れたり、観察していましたが成虫に成りきれず死んでしまいました。子ども達は悲しみ、何で死んだのか図鑑で調べていました。毎日散歩に行き出会う人に挨拶を交わし、蝉の声や落ち葉などで季節を感じ、自然との触れあいを大切にしています。 ・子ども達が感じたこと、考えたことがのびのび表現でき、遊びの広がりが見られるときは、保育士が更に楽しく展開できるように支援しています。 ・散歩で男の子と手をつないでいた女の子が、手が疲れ、「反対の手とかえたい」と男の子に言ったところ、男の子に拒否されていました。けんかになるかな、と危惧していましたが、2人はじゃんけんを決めることにしました。女の子が負け、手はそのまま、また手をつないで歩き出しました。保育士は仲裁に入らず成り行きをずっと見守り、子

ども同士で解決できたことを見届けていました。保育士は子ども一人一人の思いや気持ちを受け止め、気持ちを代弁したり、話をよく聞くよう努めています。常に公平感を持って子どもに接し、見守り、安心感を持てるように努めています。

・初めての試みでアドベンチャー「野毛山動物園」を実施しました。3、4、5歳児を縦割りにし、目的地を決めて3チームに分けました。各チームでリーダーとサブを決め、リーダーが地図を持ってみんなを目的地に連れて行くという遊びです。保育士は各チームの後について行くだけとし、昨年度は子どもたちに大好評でした。

Ⅱ-1 保育内容[生活]



・「年間食育活動計画」があり、「行事食」「多文化」「郷土料理」が盛り込まれ、「三色食品群」（赤、黄、緑）をバランスよく採る食材を記載し、「栄養士より保護者への働きかけ」の記入欄を設けています。

・手づかみでも子どもの食事意欲につながるため、自分で食べたい気持ちを大切に、子どものペースに合わせた食事援助をしています。月1回の食育クッキングでは全園児が参加しています。

・食事が楽しく食べられるように、クラシックのBGMを流して落ち着いた雰囲気作りを大切にしています。

・栄養士は各テーブルを巡回し、声かけしながら喫食状況を把握し、月1回のスタッフミーティングでは栄養士と全スタッフが集まり、喫食状況を話し合い、切り方や盛り付け方を確認して次の調理に反映しています。

・毎日の食事サンプルは玄関入口に昼食とおやつを提示しており、保護者が試食できるようになっています。体調がすぐれないときは「食事内容変更届」があり、おかげで油抜ききの食事を提供しています。1日のみ変更の場合には「1日変更届」も作成されています。

・入園前面談で家庭での眠るときの癖や習慣について聞き取り、家庭と同じように安心して眠れるように配慮しています。

・年間計画に幼児救命救急講習を盛り込み、専門的知識や技術の習得に努めています。

・年長児は年明けより徐々に睡眠時間を減らし、個々の子どもの状況や保護者の意向で午睡が必要な子どもには柔軟に対応しています。

・0～2歳児は「排泄チェックシート」をつけて一人一人のリズムを把握しています。

・トイレトレーニングを始める時には季節や個人差を考慮して、家庭と連携を図りながら進めています。お迎えの際にも排泄の様子を保護者に伝えています。

・設置法人の看護師チームが作成した「保健業務マニュアル」のなかに健康管理に関する留意事項が詳細に書かれています。登園時、日常の健康観察は欠かさず、着替えなどでも身体の気になることは保護者と共有し健康管理に努めています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]

- ・設置法人の看護師チームが作成した「保健業務マニュアル」のなかに健康管理に関する留意事項が詳細に書かれています。登園時、日常の健康観察は欠かさず、着替えなどでも身体の気になることは保護者と共有し健康管理に努めています。
- ・毎朝、看護師が子どもの様子を見回っています。体調がすぐれなかった場合、まずは看護師の指示を仰ぎ、熱は38度を目安に保護者に一報を入れ、降園後の対応について話しをしています。
- ・嘱託医による健康診断は年2回、歯科健診と歯磨き指導は年1回実施しています。
- ・健康診断の結果は即、保護者に伝えているが、気になることがある場合は、随時電話相談や、受診を勧めています。
- ・「感染症予防マニュアル」があり、「重要事項説明書」に感染症一覧を記載し、登園許可証が必要、不要な感染症について明記しています。保護者には入園時に重要事項説明書を配布し、入園説明会時や必要に応じ説明をし、周知しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- ・看護師チーム作成の業務マニュアルがあり、マニュアルは定期的に見直しを行い、衛生管理が保てるようにしています。
- ・採用時には看護師による入社前研修を2日間にわたり受講しています。既存の職員についてもレベルにより定期的に研修を実施しています。「汚染処理マニュアル」では嘔吐時の対応についての研修をし、全職員が共有しています。
- ・「お掃除マニュアル」「保健業務マニュアル」に基づき早朝にするもの、保育終了後にするものに分けて毎日行い、清掃後は「衛生チェック表」に記録し、管理しています。汚れに気づいたときはこまめに掃除しています。



Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- ・落下や転倒のおそれのあるものは落下防止、転倒予防策がとられ金具で固定しています。
- ・「危機管理マニュアル」や重要事項説明書にも安全管理に関する注意事項を記載し、全職員は周知しています。
- ・緊急連絡は園が平成23年8月より導入した安否確認ツールにより、緊急時の連絡手段を確保し、非常の際には事前に保護者より登録のアドレスに緊急連絡等の情報を発信する体制になっています。
- ・毎月0～5歳児まで避難訓練を実施しており、年1回は消防署より、園の避難、消火訓練を見てもらい、指導を受けています。
- ・備蓄は一覧表に項目、数量、賞味期限を明記し、毎月チェックしています。
- ・保護者への緊急連絡先は個人ファイルに保存し、リストは事務所の見えるところに掲示しています。
- ・怪我があった場合は軽傷でもすべて保護者に状況説明し、「アクシデントレポート」に記録しています。病院受診の怪我の場合には本社へ保護者に連絡をしてから受診し、

本館の出入口は、外扉に施錠し、内扉を開錠して入館しています。


- ・入口はオートロックになっており、訪問者にはカメラで顔を確認後、開錠しています。お迎えが変更になる場合は身分を証明するものを提示してもらっています。
- ・不審者侵入を想定した不審者対応訓練を年2回実施しています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="177 188 443 224">Ⅱ－3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの呼びかけ、言葉遣い、声のトーンに留意することを常に意識づけ、呼び捨てや大きな声を出さないように保育士間で周知徹底しています。 ・年間計画に人権研修を盛り込み、毎年実施しています。 ・子どもに注意をするときは回りに留意し、話が集中できるように場所を変え、「何がいけなかったのか」を説明し、納得できるように話しています。職員会議では「こんな時、どうする」と、事例を出して保育士が答えを出せるように切磋琢磨しています。 ・個人情報保護については採用時の研修やガイドライン・マニュアルに従って取り扱い、全職員が周知しています。 ・個人情報に関する記録やデータがあるPCはロックの上、すべて事務室の施錠できる書庫に保管し、管理しています。 ・業務マニュアルがあり、その中に男女平等ということが示されています。 ・子どもや保護者に対する声かけで無意識に性差による固定観念に基づく発言をしていないか職員会議で話し合っています。保育中に言動が出た場合は施設長が注意をしています。
<p data-bbox="177 943 582 978">Ⅱ－4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には入園時や懇談会のおりに説明し、年1回、法人全体でアンケートを実施し、理解されていますかを把握しています。 ・玄関入口に保育方針を掲示し、ニュースレター（園だより）では園の理念であるエデュケア（教育と保育を組み合わせた言葉）、それぞれの重要性、留意点などを記載し、保護者に理解されるように努めています。 ・入園時に配布する重要事項説明書に教育方針と保育姿勢を明記しています。 ・0～2歳児は「ポピンズメモリー（連絡帳）」に毎日、その日の様子を記載しお迎え時、口頭で伝えています。3歳以上は必要時「ポピンズメモリー」に記載し、お迎え時、口頭でも伝えています。 ・保護者の希望により保護者との面談は随時を行っていますが、年1回、全保護者との個人面談を設けています。 ・保護者から相談を受けた保育士が、対応に苦慮した時には、施設長や主任がフォローし、適切に対応できる体制になっています。また、気軽に話し合える関係ができるように、保育士は日ごろより保護者に声を掛けるようにしています。 ・「ポピンズニュースレター（園だより）」を毎月配布しています。 ・1～5歳児の週案、日案を入口に掲示しその日のクラス全体の活動の様子、子どもの活動の様子や行事の写真を掲示し、保護者がお迎えの折見れるようになっていきます。

し、保護者の参加を促す取り組みを行っています。

- ・年度初めに年間行事予定表と「重要事項説明書」を配布し、説明しています。毎月配布の「ポピンズニュースレター（園だより）」でも翌月の行事予定を記載し、保護者が予定を立てやすいように事前にお知らせしています
- ・保育参加の機会を年1回から2回の増やし、期間も2か月に延長して保護者が参加しやすいように配慮しました。結果、80%の参加と両親の参加もありました。
- ・保護者が自主的な活動ができるように、いつでも場所を提供できるようにしていますが、現在まで申し出はありません。
- ・卒園予定の保護者より「大型絵本の贈呈」についての相談を受け、応じています

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="177 824 703 891">Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> <div data-bbox="220 981 528 1064" style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・中区保育園、また系列園のポピンズみなとみらい・ポピンズ横浜と交流を深め また区民祭りに遊びのコーナーを出展したり「駅伝大会」に子どもを選手として出場させたりして地域のニーズに合わせています。 ・地域がビジネス街であると同時に高層マンション群であり、保育園はこの地域に10園あります。待機児童も多いようです。ただ住宅街ではないので保護者以外には子育てに関心を持つ人たちは少ないようです。 ・園が月2回第2火曜日夕方4時から定期的に催す「マザースサロン」は育児相談が主目的ですが、保護者以外に参加者はいないのが現状です。 ・虐待防止を主目的とする「中区要保護児童地域協議会」で、施設長が「虐待に関するまとめ」をまとめています。中区は横浜市で統計上虐待件数No.1です。虐待を減らすための方法について検討されています。 ・施設長、クラス担任がメンバーのリーダー会議で地域の子育て支援について話し合われています。住宅街ではないため保護者はいつも慌ただしく送迎しているのでその必要性は理解しているが、有効な方法が見つからないのが現状です。 ・子育て支援の一時保育はスペースが限られているため行っていません。他園との交流は系列3園とスポーツフェスティバルを行っており「フラッグ行進」「よさこい踊り」など全園児が楽しんでいます。今後、地域の方も利用できる絵本の貸出も検討しています。園には欧米の面白い本がそろっています。



Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能

・地域の人も相談できるマザーズサロン（育児相談）を第2・4火曜日夕方4～6時に設けています。ビジネス街のため利用者が少ないのが難点です。

・園はマンションの2階部分の半分を使っており、このマンションの管理組合があるだけです。近隣は商業ビルや官庁ビルで、ビルの外壁への張り紙は禁止されています。地域広報版回覧はありません。こういう特殊事情から園からのお知らせ情報はネットが主力です。

・園にとって優先されるべき関係機関は「緊急エマージェンシー」として壁面に赤字で表示されている警察、消防関係です。中区役所子ども家庭支援課は施設長、中部地域療育センターは看護師が担当として常に連携を取っています。また、生保関係の福祉保健センター、虐待関係の中央児童相談所は連携の用意はありますが、対象者がいないため情報交換のみです。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察OBや地域の防犯チームメンバーの協力を得て、園の保育室を開放し、防犯教室などを開催しています。 ・中区スポーツセンターなどが主催する中区保育園駅伝大会に園は全面的に協力しており、5歳児が参加してイベントを盛り上げるなど地域の人と交流しています。 ・園は「みなとみらいスポーツパーク」を園児の運動に使い、また、桜木町の総合福祉センターを園行事に利用するなどして、地域の文化施設を活用しています。 ・子どもたちは散歩・買い物などでの行き、帰りの挨拶をしたり、子どもたちのハロウィンパレードや勤労感謝などで地域との積極的な交流に努めています。 ・中区区民祭りなどの地域の行事チラシを園の玄関フロアにおき、保護者への案内としています。 ・地域の小学校とは就学対象年長児の学校授業体験、学校内探検などで訪問し、年長児クラス担任職員は学校の公開授業参観に出向いています。
<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人のホームページには園情報を詳しく掲載しています。 ・設置法人代表の保育園に関する記事は、全国紙にたびたび掲載され、園の情報も合わせ、報道されています。WEBマガジンには園情報を載せています。 ・中区の幼稚園・保育園紹介冊子には保育所として、すすんでサービス内容の詳細、料金、職員体制等、必要な情報を掲載しています。 ・見学者に対しては保育所の基本方針や利用条件・サービス内容等について、パンフレット等の資料や「園のしおり」などで分かり易く説明しています。 ・見学は予約制で、希望者はあらかじめ「受け入れ様式シート」に必要事項を記入の上申込を行い、記載されている持参物携帯の上受け入れています。年間100件を超える見学者があります。 ・園のホームページや中区の広報誌に受け入れ可能な旨明記しています。 ・見学希望者に対しては、基本的にはAM10:30～と通知していますが土曜日の希望者にも柔軟に対応しています。

IV-3 実習・ボランティアの受け入れ



・ボランティアに関して園にはマニュアルなど受け入れの仕組みがありますが現在までに受け入れ実績はありません。

・実際の受け入れがあれば、職員には職員会議で、保護者には運営委員会で説明することとしています。

・受け入れ担当は施設長、主任となります。

・マニュアル上意見感想を記録することとなります。

・実習生の受け入れに関しては、園にはマニュアルなどの仕組みがあります。また、実習生の受け入れ実績があります。

・実際の受け入れがあれば、職員には職員会議で、保護者にはNews Letterで説明にしています。

・受け入れ担当は施設長、主任です。

・実習プログラムは学校や実習生からの希望も入れ、相談しながら作成しています。

・実習最終日には実習生、クラス担任、主任、施設長で意見交換会を開き、感想を記録しています。

<コメント・提言>

・地域のボランティア及びボランティア団体には保育体験の機会を与えることも、地域への貢献及び園の透明な運営に関して必要です。招致の努められることを期待いたします。

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類

評価の理由（コメント）

V-1 職員の人材育成



・職員補充の必要性が出た場合には、施設長は設置法人のナースリー事業本部認可保育園総括部および人事部と話し合いの上、進めています。

・設置法人では職員採用に際して、新人研修、フォローアップ研修、インテンシブセミナーなどで「クオリティーブック」を使用して、継続的な研修を行い、職員の絶え間ないスキルアップを促しています。

・各職員は毎年「エバリエーションシート（個人目標）」を立てて施設長に提出し、年2回自ら達成度を評価、自己査定し、施設長と個人面談しています。

・設置法人担当部署では「人材育成プログラム」にそって、毎年職員のスキルアップに寄与する研修計画を作成し実施しています。



・設置法人のホームページには「webポピンズ学習システム」があり、職員およびパート職員は日中の休憩時間や帰宅後の家でも随時学習できるシステムが確立しています。

・設置法人の系列園で行われる「公開保育」に職員は積極的に参加し、他園の保育状況を体験しています。



・受講した職員の「研修報告レポート」を施設長はよく吟味して、以後の職員受講予定テーマを取捨選択しています。また、新人研修では施設長が講師となるため、受講生のアンケート結果からも反省点を捜して内容を見直しています。

・「保育園業務マニュアル」は非常勤職員でも入職時に主任より説明を受け、マニュアルは誰でもすぐ手に取れるところに置いてあります。

・主任は非常勤職員と施設長の間に入り、職場でのコミュニケーションの円滑化に貢献しています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="177 188 526 224">V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の保育日誌には28項目にわたる「保育サービスチェックリスト」があり、各クラス担当職員は毎日一日の保育を振り返り、自分達の保育の質を自己査定しています。 ・毎日の「保育サービスチェックリスト」結果は、週毎、月毎のスタッフミーティングで取り上げ、問題点、課題を抽出しています。 ・園では必要に応じて設置法人の「横浜管轄チームリーダー」や「看護師チーム」、「系列外園の相談役」などと相談指導を受けながら保育を進めています。また、職員は中区主催の「絵本」「音楽」などの外部研修にも参加し、指導を受けています。 ・園の月案、週案、個別カリキュラム、成長記録、保育日誌には、職員は必ず記入する「評価・反省」欄を設けていて、職員自らが考える「評価の視点」を記入しています。 ・施設長は各指導計画書の「評価・反省」記入内容が「計画の狙いと関連付けてあるか」「子どもの意欲を重視しているか」を必ず確認して、必要な場合には担当職員の指導を行っています。 ・保育活動のビデオ、写真などを基にカンファレンスを行う「ドキュメンテーション」では、複数の職員の意見を得て次の指導計画の作成、見直しを進めています。 ・保育士の振り返り、自己評価結果を基にスタッフミーティングで討議の上総括し、施設長が保育園全体の自己評価を行っています。 ・設置法人には保育所や職員一人一人の法人理念や基本方針、保育課程にそった「評価シート」があり、園ではこのシートにそっても自己評価を進めています。 ・自己評価結果の総括については設置法人のホームページにまとめたものを掲載しています。
<p data-bbox="177 1245 670 1281">V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人には経験年数や役職に伴う「人材育成プログラム」があり、このプログラムにそって研修計画などを作成しています。全職員が年1回行う①職位別、②役割、③着眼点、④着任年数、⑤期待能力に分類された自己評価（年間個人目標管理）シートには、期待されるスキルレベルが詳細に記載されています。 ・園では施設長、主任、クラスリーダー、職員とのミーティングに際しても、議長の順番制をとっており、職員間で意見を交わしやすい、風通しの良さを目指しています。 ・職員意見や要望・満足度の掌握には設置法人が年度末に行う職員からのWEBアンケート「キャリアプラン」提出により行っています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人株式会社ポピンズサービスの哲学に「倫理」「コンプライアンス」が明記されていて、職員は入社時に必ず研修を受けています。 ・経営状況は設置法人のホームページに内容が詳しく掲載し、公開しています。 ・設置法人の全体会議や「インテンシブセミナー」のテーマとして、他園の不正、不適切事例を取り上げ、ケーススタディしています。 ・園は産業廃棄物回収業者と契約してゴミ処理を行っていますが、これは横浜市ゴミ処理「3R夢」システムと同じで、①燃えるゴミ、②リサイクルプラスチック、③ダンボール、④シュレッダーゴミ、⑤ビン・カンに分けて分別を行っています。 ・廃材で再利用できるものは手作りおもちゃや子どもの自由な発想での製作活動に使用しています。 ・園では節電、消灯のほかに、エアコンの設定を調整しながら、省エネに努めています。 ・環境への配慮として、地球環境保護のポスターを玄関に貼りだし、職員、保護者も含めて啓蒙しています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は原則的には「保育園理念・基本方針」を昼ミーティング時に唱和して仕事に入ることにはしていますが、時間がない時は心で唱えるよう指導しています。 ・会議の中で議論が錯綜した場合、施設長は「保育園理念・基本方針」に立ち戻って考えるように指導しています。 ・各職員は毎日行う「保育日誌」での「保育サービスチェックリスト」を通して、自らと理念との隔たりを反省しています。 ・重要な意思決定のケースとしては、近隣にある警察関係の容疑者が、園のビル内にあるクリニックで、受診するケースがあり、保護者から不安の声が寄せられたことがあります。警察とも折衝し、利用は子どもたちの登降園時間帯を避ける、入るときは裏口を利用するなど対応策を得た上で、保護者への十分な説明と話し合いを行い、同意を得ることができました。 ・設置法人では、課題によっては認可保育園統括部、企画営業部など、総力をあげて取り組む仕組みがあります。また、社内の「看護師チーム」「栄養士チーム」などの専門チームは、各分野の最新の情報提供を子育て支援に活かせる仕組みができています。 ・設置法人主催の「インテンシブセミナー」が年1回開催され、幹部スタッフを育成しています。 ・シフト表作成に必要な全職員の業務状況把握については、主任のほかに数人の職員がサポートしており、複数職員により運営されています。 ・主任は施設長と職員の間に入って、全職員間のスムーズなコミュニケーションがなされるように配慮しています。 ・施設長、主任、看護師は職員の家庭などの問題を含め、精神的、身体的な状況には絶えず気を配っています。

VI-3 効率的な運営



・設置法人の代表は保育業界で知名度が高く、将来の保育園運営には高邁な「ビジョン」を持っており、講演会講師を引き受けた折などを通じて、多くの保育関係者からの意見も得ています。

・その結果を持って、系列全体園長会議などで問題が提起され、議論しています。

・系列全体園長会議での議論内容を施設長は園に持帰り、全職員で共有しています。

・設置法人には保育を進めるにあたって、①サービス品質、②人材、③財務管理、④地域との関わりの各項目に対して、4年～5年の長期計画と1年～3年の中期計画を策定し、各園で目標に向けた保育園運営を行っています。

・経理業務のシステム化運用を軌道に乗せ、さらなる業務の効率化を目指しています。

・「インテンシブセミナー」にて次期幹部職員の育成を行っています。

・保育園運営に関して、社会福祉法人会計専門の税理士事務所のアドバイスを受け、適切な運営を行っています。

<提言>

・設置法人代表からする長期計画として「将来の理想とする保育園像」があり、これに向かって「中期計画」があります。今後はさらに「中期計画」の各テーマを実行動目標に結び付ける年度ごとの「事業計画」を作って行動する目標管理システムの確立が望まれます。

利用者本人調査

平成年 11 月 17 日、21 日

事業所名：ポピンズナーサリースクール馬車道

【全園歳児】

・全員が集まって朝の会がはじまる。

保育士の電子ピアノに合わせて、どんぐりころころや手遊びの歌を歌う。子ども達が歌いながら器用に指を動かしている。モミジの歌を歌う時、保育士が「真っ赤な赤い葉っぱを思いながら歌ってください」とみんなに伝えている。

保育士が「皆さん、おはようございます。今日は〇月〇日〇曜日です。お天気は？」子どもに問いかけながら、「今日の先生を紹介します」早番の先生から遅番の先生に代わることを伝え、名前を呼ばれた保育士がみんなに見えるように手をあげている。0歳児がリトミックが始まるので退室した。

【0歳児】

<おやつ前の遊び>

床はクッション性のある絨毯のマットを使用し、部屋の一角に絵本があり、表紙が見えるように並べてある。子どもの手が届く位置にあるので、子どもが絵本を見ながら出したり、戻したりして遊んでいる。保育士の膝に抱っこされて絵本を読んでもらっている子、ブロックのおもちゃで遊んでいる子など、それぞれに楽しんでいる。

保育士がお片づけを伝え片付けはじめると、子どもも真似をして片付けはじめた。

<朝のおやつ>

おやつがはじまるので子どもたちが手洗いはじめた。保育士に袖口をまくってもらい洗面所で丁寧に洗っていた。今朝のおやつはせんべい、牛乳である。

保育士が子どもたちにスタイをつけている。トレイが配られ、その上におやつがのると、みんなの顔がおやつに集中した。ごっくんごっくん、おいしそうに牛乳を飲む子、保育士が空になったコップを見て、「お代わり、ありますよ!」、お代わりは麦茶である。保育士に麦茶を入れてもらった子を見て、次つぎにお代わりのコップを差し出している。

<食事>

全員が完了食となり、量のちがいや形体を少し小さくしているが、内容は幼児食とあまり変わらない。みんなスタイをつけて椅子に座り、配膳されるのを待っている。

テーブルに配膳されると「ありがとう!」の歌を歌い、「いただきます」をすると、一斉に食べはじめた。手づかみ食べをしている子、マイペースでゆっくり食べている子、はじめはスプーンを使っていた子も、そのうち手づかみ食べで自分の口に運んでいる。保育士が子どもの間に入って、スプーンにのせてやったり、口まで持って行って食べさせている。子どもがバランスよく食べているか様子を見ながら手助けしている。

<食事の後>

食べ終わった子から保育士の支援を得ながら手を洗い、皆並んでヨチヨチと歩き、自分達の部屋へ一直線です。保育士に抱かれて帰る子もいます。部屋はすでに薄暗くしてあり、おむつを取り替えていよいよ寝る準備です。

【0、1、2歳児】

<朝の自由遊び>

保育士が作った輪っか（新聞紙を丸め、輪にしてカラーテープを巻いたもの、輪投げもできる）を両手で回しながら持ってきた。輪っかをハンドルに見立て、「トラックだ！」と言って輪っかをくるくる回し、ハンドル操作をしている。もう、すっかり運転手の気分、なりきっていた。0、1歳児は真似をする子もいれば、何が始まるのかと、興味津津の子もいた。女の子が「見て！見て！かんむり、」頭の上のにのせて得意そうだった。

【1歳児】

<食事>

除去食が1名いる。ピンクのトレーにネームプレートがあり、名前と顔写真がある。その裏側に除去食のチェックポイントを記載し、必ず2者で確認することになっている。食べる直前までラップをかけ、その上に確認済みの「○」がある。

2名の子ども以外は2歳になっており、みんなスプーン、フォークで上手に口に運んでいる。みんなの真似をしてスプーン、フォークを使い分けているが、上手い出来ないときは手づかみで口に運んでいる子もいる。

保育士の「ごはんも食べよう」「野菜も食べよう」「凄い、お上手！」「自分でたべてみよう」子どものスタイの中には、食べ落としが入っているが、保育士は極力自分で食べる意欲を支援し、見守っている。

<食事後>

食事が終わると自分で歯磨きです。仕上げは保育士が支援します。終わった子は手を洗い、自分の席に戻ります。その後、列を作り自分達のへやにかえり、着替えをして、布団に入ります。

<排泄>

散歩から帰ったらトイレに行く。時間がかかっても自分で脱ごうとしている子、はじめから保育士にやってもらおうとする子、自分からトイレに入っていく子、保育士は着脱には口を出さず子どもの様子を見ている。トイレから出てくるなり「でた！」、保育士のところに駆け寄ってきた。「よかったね！」とほめてやっていた。子どもは自信がついたのか、嬉しそうだった。

【2歳児】

<散歩>

今日の散歩は「ゾウの鼻パーク」。玄関ホールに集まり、好きな子同士が手をつないでいる。自分と同じ靴を履いてる子に「あっ、同じ！」子どもに人気のあるキャラク

ターの靴だった。2列に並んで横断歩道にいくと、保育士の「車来てますか」の声で子どもたちが左右を見て確認後、手をあげて渡る。「あっ、ヘリコプターだ！」みんな、一斉に空を見上げる。

目的の「ゾウの鼻パーク」に着くと、保育士が「今日はここで遊ぼうと思います」と、子どもたちに伝え、そのあと、公園での遊びの注意を話している。この日は暖かく一人の子どもが「暑い！」と言って上着を脱ぎはじめると、他の子どもたちも次つぎに脱ぎだした。しばらく遊んで水分補給をする。保育士から紙コップに麦茶を入れてもらい、休憩後かけっこをしたり、葉っぱを取って「サラダができた！」と、みんなに見せている子もいた。女の子が走ってきた。「転んだけど泣かなかったよ！」保育士に報告に来た。保育士は頭をなで、いい子、いい子をしていた。

<食事>フォークの正しい持ち方の指導

今日の献立はさつまいもご飯、鶏肉のみそ照り焼き、きゅうりとしらすの和え物、小松菜と豆腐のお吸い物がワンプレートに盛り付けてある。お茶とフォーク、お箸が添えられており、フォークを使っているのは月齢の低い2人だけ、後は上手にお箸を使って食べている。きれいに食べて食器がピカピカになったらお代わりができる。

「お代わりください」の声が聞えたので保育士がそばにきた。「あつまれ」するね。きれいに食べて子どもがお代わりをした。

この年齢で食器の正しい持ち方とお箸とフォークの持ち方を教えていますが フォークを鉛筆持ちして食べようとするのが予想されるので それを下から持つよう正しく持つように指導するのが保育士の役目です。

食事時間は30分以内で完食させるのが目標です。保育士は自分たちは食事をせずにこどもの食べかたを見守ります。大皿にひじき 煮魚 ご飯を盛り お汁は茶碗で食べます。茶碗は陶器で重く、床に落としたら割れます。落とさないように持つのもマナーです。箸とフォークを両方を使わせるのは、箸を持つ指の力が長続きせずに、途中で疲れるからフォークを持たせる、と園長はその理由を説明しています。

最初からフォークを鉛筆もちしながらひじきをすくい上げる子、うまく取れなくてお箸でフォークに盛る子、ご飯をうまくフォークにのせる子もいます。最初は箸を使って食べますがもう手が疲れたのかフォークに持ち代える子もいます。保育士は目を配りながらお汁だけ食べてしまう子には「〇〇ちゃん ご飯が嫌いなのかな」とご飯も勧めます。ご飯が進まない子には隣に座ってフォークにご飯を盛って食べさせます。子ども達はしゃべりながら楽しく食べていますが、それに加わらずに夢中になって早く食べてしまう子が7人中3人はいました。残りの子には保育士が食べ残したものを食べさせていました。

年間を通じて茶碗の持ち方、箸とフォークの使い方を習得させるのが目標ですが11月の時点では半数ほどは箸とフォークの使い方を体得しているようでした。茶碗も持つようになっていました。

<午睡>

自分の棚から袋を取り出してくる。袋からパジャマを出して、さっさと着替える子、ボタンが外せずに、ずっと頑張っている子、あとから来た女の子が月齢の低いその子に気付いて手伝っていた。準備ができた子は好きな絵本を持ってきて見ている。上に掛けるバスタオルは自前でこどもたちの好きな色柄やキャラクターがあり、目印にもなっている。午睡に入る準備が整い、横になって保育士にバスタオルを掛けてもらっていた。ロールカーテンを引き、照明を少し落とし、BGMを流して心地よい眠りにつけるように環境設定をしている。

【3歳児】

<散歩>

玄関フロアで自分で靴下を、そして靴を履き、玄関外で整列します。点呼の後、階段の端を手すりを伝って、安全に降ります。赤レンガ倉庫を横目に、運河にかかる橋を渡った左側が、海べりの芝生が一面の「ゾウの鼻公園」です。子どもたちは気持ちよさそうに芝生の上を歩きます。公園内の散歩途上で、アマチュアのバンド演奏を聞いたりしながら、目的の煉瓦を引きつめたレンガ舞台広場に到着します。舞台のまわりは全て芝生で安全です。保育士は持ってきた野球ボール大の色とりどりのプラスチックボールを投げ広げ、持ってきた籠を背負って逃げる保育士の籠に、如何に多くのボールを子どもたちが投げ込めるかのゲームです。一定に時間でゲームが終了し、何個のボールが籠に入ったかを数えます。途中のお茶タイムを終えて、また、手をつなぎ安全を確認しながら帰ります。

【4、5歳児】

<散歩> ; 公園で「エイサー」「ソーラン踊り」 合同で練習。

新港パークはトイレがあること、公園全体が起伏のある坂があり、体のバランスを養うに好都合なことなどで子どもたちの良好な遊び場となっています。好天に恵まれ2人の女性保育士が引率します。子ども2人ずつ手をつなぎ、車道側に年上の子が歩きます。交通量の多い交差点で先頭と後部に保育士がつき、子どもにわたり方を説明し、渡る時に必ず右側から来る車を見て、右手をあげてわたること、です。信号が既に青の時には渡らずに、次の青になるのを待ちます。年上の子が年下の子を保護する姿勢は歩きの基本で、階段の降りるときには年上の子が先におりることと教えています。

公園には偶然に姉妹園であるみなとみらいの同じ年齢の子ども達が来ていました。早速両園の保育士同士の話し合いで、合同の遊びをすることになりました。

両園には沖縄出身の保育士がおり、5歳児が沖縄民謡をアレンジした「エイサー時をこえて」の踊りを、今年のスポーツフェスティバルで踊ることになっていたのです。蛇三味線の素朴で哀愁をおびたリズムが流れ始めると、横1列にならんだ子供たちは踊り始めます。最初はぎこちなく、バラバラの踊りでしたが、保育士が自らも踊りはじめ、

手を挙げ、体を横に振り、体をやわらかく曲げたり、股を広げて腰をかがめたりする振りに、子どもたちも少しづつ揃うようになりました。沖縄出身の保育士が教えています。

次は4歳児の「ソーラン踊り」の合同練習が始まりました。ソーラン踊りはからだの動かし方が激しく、全身で動きます。スピーディな迫力ある動きに子どもは容易にはついて行けません。しかし完全に振りは覚えていなくても、それらしく動いています。リズムにあわせて体を上下、左右、前後に動かす子どもの躍動する姿に見とれていました。

両園の子ども達はお互いに他のクラスに見せ合いすることで、人前で踊ることになれ、恥ずかしさをなくすようになってきています。公園は港に隣接しているので観光客も多く、立ち止まって子どもたちの踊りに、微笑みながらみていましたのが印象的でした。

<食事>：テーブルマナー を身に付けさせる

園は創業者中村紀子代表の教えを忠実に守っています。英国の食事マナーを守らせることでグローバルに活躍できる素地を身に付けさせようとしています。食事の風景にそれが見受けられます。

当番の2人はバンダナを頭につけ清潔感を出します。食事の準備に配膳を手伝い、そして皆の前で、今日の食べるものを書いたホワイトボードのメニュー書きを、読みあげます。

「いただきます」の言葉で食べ始めます。保育士は子どもとは一緒に食事はしません。子どもの食べる様子を見守り、ヘルプします。箸の正しい使いかたができない子どもには、正しい持ち方を教えています。子どもが箸を床に落としました。子どもはそれを拾って箸の交換のために保育士のところへ急ぎます。保育士はすぐに渡しません。一言二言こどもに話してから新しい箸を渡しております。

30分で食事時間は終わります。体調の悪い子どもには保育士が一人ついて食べるのを見守っています。30分で終わりそうもない子どもには保育士はすこし支援して、食べさせます。全員完食です。出されたものを好き嫌いなく食べてしまうというマナーです。

英国流のマナー「残さず食べる」「好き嫌いをなくす」は壁に「テーブルマナー」として貼り出してあります。

<食育で作ったおやつ>

食育クッキングで4、5歳児がつくったパンプキンパイとスイートポテトです。子ども達は、パイ生地を四角に切った上にかぼちゃの餡をのせた。慣れない手つきでスプーンでかぼちゃ餡をのせている。スイートポテトの方は裏ごししたサツマイモを楕円形に形作り、レーズンを目に見立て、うさぎ?にもみえるスイートポテトが完成した。子どもたちがうさぎだ!、リスだ!と言って嬉しそうだった。みんなが一生懸命つくったおやつ、どの子どもも、おいしそうに食べていた。

利用者家族アンケート

ポピンズナーサリスクール 馬車道 保

・0歳児	4
・1歳児	6
・2歳児	5
・3歳児	7
・4歳児	6
・5歳児	5
無記入	1
合計	34
回収率	85%

調査期間 平成 28 年 9 月 21 日～ 9 月 30 日

調査機関 NPO法人 中小企業再生支援

■保育園の基本理念や基本方針についておたずねします。

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか(○は1つだけ)

1 よく知っている	7 名 %	3 どちらともいえない	5 名	4 あまり知らない	4名 %
2 まあ知っている	17 名 %	5 まったく知らない	1 名 %		
合計					34

付問1 【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方へ】

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。(○は1つだけ)

1 賛同できる	21 名 %	3 どちらともいえない	9 名	4 あまり賛同できない	0
2 まあ賛同できる	5 名 %	5 賛同できない	0		

■ここからは保育園のサービス内容について、満足度をおたずねします。

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。(○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

(上段の単位は人)	満足	無記入	どちらかといえば不満	不満	
見学の受け入れについては	19	8	1	0	6
	56%	24%	3%	0%	18%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	18	11	2	0	3
	53%	32%	6%	0%	9%
園の目標や方針についての説明には	13	15	0	0	6
	38%	44%	0%	0%	18%
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	19	12	0	0	3
	56%	35%	0%	0%	9%
保育園での1日の過ごし方についての説明には	20	11	1	1	1
	59%	32%	3%	3%	3%
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	18	12	1	2	1
	53%	35%	3%	6%	3%

問3 保育や行事の年間計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 (〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他
年間の保育や行事についての説明には	18	12	4	0	0
	53%	35%	12%	0%	0%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	16	14	1	1	1
	47%	41%	3%	3%	3%

問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 なお、乳幼児期の保育は、教育的なねらいを持った遊びを通して行われています。
 (〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

「遊び」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	20	9	4	1	0
	59%	26%	12%	3%	0%
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	11	15	4	4	0
	32%	44%	12%	12%	0%
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	13	19	1	0	1
	38%	56%	3%	0%	3%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	15	14	3	1	1
	44%	41%	9%	3%	3%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	19	14	0	0	1
	56%	41%	0%	0%	3%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	16	15	2	0	1
	47%	44%	6%	0%	3%

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
給食の献立内容については	30	3	1	0	0
	88%	9%	3%	0%	0%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	26	7	1	0	0
	76%	21%	3%	0%	0%
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	25	8	1	0	0
	74%	24%	3%	0%	0%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	20	10	2	1	1
	59%	29%	6%	3%	3%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	22	8	0	1	1
	65%	24%	0%	3%	3%
お子さんの体調への気配りについては	22	10	0	2	0
	65%	29%	0%	6%	0%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	16	11	6	0	1
	47%	32%	18%	0%	3%

問5 保育園の快適さや安全対策などについていかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。）

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
施設設備については	11	19	2	1	1
	32%	56%	6%	3%	3%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	14	14	3	2	1
	41%	41%	9%	6%	3%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	9	14	10	0	1
	26%	41%	29%	0%	3%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	19	9	4	1	1
	56%	26%	12%	3%	3%

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 (○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	16	16	0	1	1
	47%	47%	0%	3%	3%
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	16	13	3	1	1
	47%	38%	9%	3%	3%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	19	11	3	1	0
	56%	32%	9%	3%	0%
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	13	15	4	2	0
	38%	44%	12%	6%	0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	18	11	3	0	2
	53%	32%	9%	0%	6%
保護者からの相談事への対応には	16	14	2	2	0
	47%	41%	6%	6%	0%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	22	7	3	1	1
	65%	21%	9%	3%	3%

問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 (○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
あなたのお子さんが大切にされているかについては	24	8	2	0	0
	71%	24%	6%	0%	0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	26	4	3	1	9
	76%	12%	9%	3%	26%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	19	8	2	0	5
	56%	24%	6%	0%	15%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	23	8	0	3	0
	68%	24%	0%	9%	0%
意見や要望への対応については	16	14	3	1	0
	47%	41%	9%	3%	0%

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

総合満足度は	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
	21	9	3	0	0
	62%	26%	9%	0%	0%
